

第2章 施策・事業の運営状況

京都府では、知事部局・教育委員会・警察本部の部長等が、担当する職務に関して、特にその年度に重点的に取り組む目標を設定し、挑戦する運営目標のしくみをつくっている。

第2章では、2010年度の運営目標の達成状況等をもとに、「明日の京都」の実現に向けた施策・事業の運営状況について点検を行い、今後の課題を明らかにする。

1 2010年度運営目標の達成状況と問題点

2010年度は、17部局（知事部局、教育委員会、警察本部）で計800項目の運営目標を設定し、そのうち目標を達成したものは698項目（87%）、未達成に終わったものは102項目（13%）であった。

以下には、「明日の京都」の3つの基本方向に沿って、達成・未達成の事例と未達成の原因を示す。

【府民安心の再構築】

達成事例

- ・地域包括ケアシステムの整備（高齢者の介護施設の増床）
＜目標＞ 700床 ＜実績＞ 869床
- ・求人開拓の強化（企業開拓員を配置し開拓強化）
＜目標＞ 開拓求人数16,800件 ＜実績＞ 21,323件
- ・子どもの学力状況に合わせた「質の高い学力」の育成支援
＜目標＞ 小学校における京都式少人数教育の完成

未達成事例

- ・刑法犯の抑制（刑法犯認知件数の減少）
＜目標＞ 前年比マイナス7% ＜実績＞ マイナス5.1%
＜原因＞ カーナビ盗の予期せぬ増加

【地域共生の実現】

達成事例

- ・地域力再生に関する新しい施策の検討
 <目標> 地域普請公共事業制度の創設

未達成事例

- ・府立植物園
 <目標> 入園者数 85万人 <実績> 72万人
 <原因> 記録的な猛暑

【京都力の発揮】

達成事例

- ・東アジア市場の開拓を目指す企業への支援
 <目標> 東アジア中小企業市場開拓支援センターの設立

未達成事例

- ・企業誘致
 <目標> 40件 <実績> 17件
 <原因> リーマンショック以降の設備投資意欲の冷え込み
- ・宇治茶の生産振興（老朽茶園の優良品種への改植）
 <目標> 20ha <実績> 6.7ha
 <原因> 茶価低迷による生産農家の投資意欲の減退

未達成に終わった項目の多くに共通する問題として、施策・事業を推進中に目標の達成が難しいことが判明した際に、リアルタイムでその原因を見極め、目標達成に向けて直ちに行動できていないということがある。

こうした点で、例えば、カーナビ盗の予期せぬ急増により、刑法犯認知件数の目標達成が困難になった際、直ちに、専用工具が必要な盗難防止ネジの普及促進により対応した事例などは大いに参考にすることができる。

今後は、施策・事業推進中であっても、常に目標達成の可否を見通し、達成のために必要な対応を迅速に講じていくことが求められる。

2 運営目標に係る今後の留意事項

2010年度の施策・事業運営の問題点を踏まえた上で、2011年度の運営目標の設定に際して特に留意した点と主な事例を以下に示す。こうした点については、今後の施策・事業の運営に当たり、常に留意していくことが求められる。

状況変化に迅速に対応する目標を設定すること

- ・東日本大震災に伴う風評被害を払拭するため、輸出食品に関する証明書発行や、府内産農林畜水産物の放射性物質のモニタリング検査等を実施
- ・「再生可能エネルギーの普及に関する戦略会議」を開催し、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー推進のための戦略プログラムを策定 ほか

本質的な原因を突きつめ、一步踏み出した目標を設定すること

- ・社会的ひきこもりからの自立促進のため、より多くの当事者に支援の手が届くよう当事者の顕在化につながるしくみづくりなどを検討
- ・医師のキャリアパス多様化時代に応じ、京都府地域医療支援センターを新たに設置し、医師のキャリア形成支援やコーディネート機能の強化等を通じて医師を確保する仕組みを構築 ほか

これまでのやり方を大きく変える大胆な目標を設定すること

- ・「京都アグリ21」を創設し、食の試作ネットワークや農商工連携による新商品の開発、6次産業化の取組に加え、海外市場にも果敢にチャレンジする農業経営体の育成など総合的な農業ビジネスの支援により1億円農業経営体を拡大
- ・中小企業応援隊により3万社を訪問し、人材育成や研究開発、イノベーションなどに取り組む500社に投資や支援を行い京都の産業を育成 ほか

第3章 ベンチマークの点検

「明日の京都」では、目標の達成状況を確認するために活用する指標（施策指標）について、これを固定したものとせず、常に改善・進化を図っていくこととしている。

また、指標のもとに設定した数値目標についても、その達成にとらわれ過ぎ、社会・経済情勢に応じた柔軟で機動的な施策運営の支障とならないよう、更なる研究・検討を進めていくこととしている。

本章では、こうした観点に立って、個々の指標及び数値目標について点検を行い、今後の適切な運用に資するものとする。

但し、今回の点検は、基本的に、計画のスタート後3か月を経た2011年3月時点の実績をもとに行うため、現時点で指標及び数値目標の適否を判断することは時期尚早と考えられる。

このため今年度は、以下に示す2種類の指標について、今後の実績の推移に注意を要するものとして指摘するにとどめる。

1 2010年(度)実績において、数値目標を既に達成した指標

2010年(度)の実績において、既に数値目標を達成している指標が、以下に示す19指標である。

これらの指標については、今後の実績の推移に応じ、

(ア) 目標設定の水準を上げる

(イ) 早期の目標達成を絶好の機会と捉え、新たに別の目標設定をする

等の対応が必要となる可能性がある。

(1) 中期計画

【府民安心の再構築】(7指標)

・自然とのふれ合いを図る農林水産業等体験学習の実施回数(年間)

<目標> 100回(2014年度) <実績> 111回

・府が実施する「中学校学力診断テスト」の正答率が50%未満の中学生の割合

<目標> 25%(2014年度) <実績> 国語16.4%、数学16.6%

- ・府総合教育センターの研修（出前講座を含む。）を受講する教職員数（延べ人数）
（年間）
＜目標＞ 22,000人（2014年度） ＜実績＞ 22,214人
- ・京都ジョブパーク実来所者のうち、就職が内定した人の割合（年間）
＜目標＞ 40%（2014年度） ＜実績＞ 42.5%
- ・全搬送事案（周産期）のうち、医療機関の選定開始から決定まで4医療機関以上に受け入れ要請の連絡をした事案（選定困難事案）の割合（年間）
＜目標＞ 0%（2014年度） ＜実績＞ 0%
- ・高齢者支援施策に対する利用者の満足度
＜目標＞ 85%（2014年度） ＜実績＞ 85.1%
- ・安心歩行エリア内の歩行者・自転車死傷事故数（年間）
＜目標＞ 200件（2014年度） ＜実績＞ 192件

【地域共生の実現】（1指標）

- ・ドメスティック・バイオレンス被害者の社会的自活の割合
＜目標＞ 50%（2014年度） ＜実績＞ 53%

【京都力の発揮】（9指標）

- ・新規就農・就業者数（年間）
＜目標＞ 100人（2014年度） ＜実績＞ 108人
- ・交通量の多い市街地における自動車交通騒音の環境基準達成率
＜目標＞ 88%（2014年度） ＜実績＞ 89%
- ・府民、企業、団体、NPO、大学等が連携して森林づくりに取り組むモデルフォレスト運動への参画者数（延べ人数）（年間）
＜目標＞ 6,000人（2014年度） ＜実績＞ 6,000人

- ・ 中小企業応援条例に基づく「元気印中小企業」認定企業数（年間）
 <目標> 21社（2014年度） <実績> 21社
- ・ 中小企業応援条例に基づく「知恵の経営」実践モデル認証企業数（年間）
 <目標> 23社（2014年度） <実績> 27社
- ・ 京都舞鶴港における貿易取扱量（年間）
 <目標> 1,000万t（2014年度） <実績> 1,014万t
- ・ 中小企業サポートチームによる中小企業の訪問・相談件数（年間）
 <目標> 70,000件（2014年度） <実績> 84,980件
- ・ きょうと農商工連携応援ファンドに取り組む事業者数（年間）
 <目標> 12連携体（2014年度） <実績> 13連携体
- ・ 市役所・町村役場から最寄りのICまで30分以内の市町村の割合（3月末現在）
 <目標> 100%（2010年度） <実績> 100%

（2）地域振興計画

【中丹地域振興計画】（1指標）

- ・ 間伐材出材量（年間）
 <目標> 8,000m³（2014年度） <実績> 10,054m³

【丹後地域振興計画】（1指標）

- ・ 「知恵の経営実践モデル企業認定制度」等に取り組む事業件数/年
 <目標> 20件（2014年度） <実績> 21件

2 数値目標に反して、2010年(度)実績が基準年より後退した指標

設定した数値目標に反して、基準年より2010年(度)の実績が後退した結果、目標進捗率がマイナスとなった指標が、以下に示す35指標である。

これらの指標については、まずは、現行の施策・事業の実施方法等についての抜本的な見直し等が求められることになるが、今後の実績の推移によっては、

(ア) 目標設定の水準を下げる(但し、この場合には、当初の目標設定の考え方に対する十分な総括が必要)

(イ) 現状を踏まえた上で、施策の効果を計測することのできる代替指標及び数値目標を検討する

等の対応が必要となる可能性がある。

(1) 中期計画

【府民安心の再構築】(17指標)

・ 不妊治療支援施策の利用者数(年間)

<基準値> 4,230人(2009年度)

<目標> 6,000人(2014年度) <実績> 4,140人

・ 妊娠出産・不妊に関するFAQの閲覧件数(年間)

<基準値> 7,000件(2009年度)

<目標> 10,000件(2014年度) <実績> 6,933件

・ 府内の小・中学校において認知されたいじめのうち、年度内の解消率(年間)

<基準値> 80%(2008年度)

<目標> 85%(2014年度) <実績> 72.3%

・ 刑法犯少年のうち、再犯に及んだ少年の占める割合(年間)

<基準値> 35.7%(2009年中)

<目標> 30.8%(2014年度) <実績> 38.1%

・ 学校の体育の授業以外で週1回以上運動やスポーツを行っている小学生の割合

<基準値> 85.4%(2009年度)

<目標> 90%(2014年度) <実績> 83.3%

- ・学校の体育の授業以外で週1回以上運動やスポーツを行っている中学生の割合
 <基準値> 84.7%(2009年度)
 <目標> 90%(2014年度) <実績> 82.8%

- ・府内の児童養護施設(4施設)・児童自立支援施設(1施設)の子どもの大学進学率
 (進学希望者のみ)(年間)
 <基準値> 20%(2007~09年度平均)
 <目標> 30%(2014年度) <実績> 18%

- ・府ホームページで提供されている生涯学習講座「eラーニング塾」の受講者数(延べ
 人数)(年間)
 <基準値> 1,019人(2007~09年度平均)
 <目標> 1,500人(2014年度) <実績> 235人

- ・就職を希望する府立高等学校の生徒の就職率(3月末現在)
 <基準値> 98.5%(2007年度)
 <目標> 100%(2014年度) <実績> 97.3%

- ・職業訓練を受けた人の数(年間)
 <基準値> 2,434人(2009年度)
 <目標> 3,650人(2014年度) <実績> 2,042人

- ・府内における一人当たりの年平均での月間所定外労働時間数(年間)
 <基準値> 8.8時間(2009年度)
 <目標> 7.4時間(2014年度) <実績> 9.1時間

- ・全搬送事案(重症)のうち、医療機関の選定開始から決定まで4医療機関以上に受け
 入れ要請の連絡をした事案(選定困難事案)の割合(年間)
 <基準値> 2.5%(2009年度)
 <目標> 0%(2014年度) <実績> 2.6%

- ・ナースバンクに登録している看護職数(3月末現在)
 <基準値> 851人(2009年度)
 <目標> 1,300人(2014年度) <実績> 825人

- ・成年後見人等の選任件数（年間）
 <基準値> 716件（2009年）
 <目標> 1,074件（2014年度） <実績> 681件
- ・サービス管理責任者研修、行動援護従事者養成研修、相談支援従事者研修、認知症介護実践者養成研修及びユニットケア研修の修了者数（年間）
 <基準値> 1,277人（2009年度）
 <目標> 1,300人（2014年度） <実績> 1,177人
- ・老人クラブに加入する高齢者の数（3月末現在）
 <基準値> 84,398人（2008年度）
 <目標> 90,000人（2014年度） <実績> 78,395人
- ・調査店舗のうち、調査商品数に対して、名称や原産地等が表示されている商品数の割合が80%以上の店舗の割合（3月末現在）
 <基準値> 74%（2009年度）
 <目標> 90%（2014年度） <実績> 73%

【地域共生の実現】（2指標）

- ・マザーズジョブカフェでの相談者のうち、就職した人の割合（年間）
 <基準値> 38.4%（2009年度）
 <目標> 40%（2014年度） <実績> 24.8%
- ・京の田舎暮らしふるさとセンターや田舎暮らしナビゲーター等を通じて農山漁村へ移住した都市住民等の数（年間）
 <基準値> 18人（2007～09年度平均）
 <目標> 50（2014年度） <実績> 14人

【京都力の発揮】（9指標）

- ・漁業における新規就業者数（年間）
 <基準値> 30人（2007～09年度平均）
 <目標> 35人（2014年度） <実績> 26人

- ・「ウッドマイレージCO₂」認証等製品出荷量（年間）
 - <基準値> 17,272m³（2009年度）
 - <目標> 25,000m³（2014年度） <実績> 17,198m³

- ・植物園入園者数（年間）
 - <基準値> 77万人（2009年度）
 - <目標> 100万人（2014年度） <実績> 73万人

- ・京都舞鶴港におけるコンテナ取扱量（年間）
 - <基準値> 6,690TEU（2004年度）
 - <目標> 10,000TEU（2014年度） <実績> 4,103TEU

- ・府内を訪れた観光客の消費額総額（年間）
 - <基準値> 7,063億円（2008年）
 - <目標> 8,000億円（2014年度） <実績> 6,963億円

- ・府内を訪れた観光客の一人当たり消費額（年間）
 - <基準値> 9,413円（2006年）
 - <目標> 10,000円（2014年度） <実績> 9,074円

- ・新品種を導入した品目の販売額（年間）
 - <基準値> 3.8億円（2009年度）
 - <目標> 4.9億円（2014年度） <実績> 2.9億円

- ・新たに定められる「ほんまもん京ブランド40」に該当する農林水産物・加工品の販売額（年間）
 - <基準値> 90億円（2009年度）
 - <目標> 115億円（2014年度） <実績> 83億円

- ・関西文化学術研究都市（府域）に立地する文化学術研究機関等の数（3月末現在）
 - <基準値> 60件（2009年度）
 - <目標> 75件（2014年度） <実績> 59件

(2) 地域振興計画

【山城地域振興計画】(2指標)

・観光入込客数(年間)

<基準値> 1,320万人(2009年)

<目標> 1,500万人(2014年) <実績> 1,280万人

・観光消費額(年間)

<基準値> 149億円(2009年)

<目標> 180億円(2014年) <実績> 145億円

【南丹地域振興計画】(1指標)

・京都丹波地域への観光入込客数(年間)

<基準値> 575万人(2009年)

<目標> 650万人(2014年) <実績> 571万人

【中丹地域振興計画】(3指標)

・管内3市の定住窓口等における新規定住者数(年間)

<基準値> 50人(2009年度)

<目標> 75人(2014年度) <実績> 46人

・ブランド製品の生産拡大 万願寺とうがらし(年間)

<基準値> 300t(2009年度)

<目標> 350t(2014年度) <実績> 244t

・ブランド製品の生産拡大 紫ずきん(年間)

<基準値> 100t(2009年度)

<目標> 140t(2014年度) <実績> 92t

【丹後地域振興計画】(1指標)

・「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成研修等延べ受講者数(年間)

<基準値> 2,894名(2009年度)

<目標> 5,000名(2014年度) <実績> 2,451名

